

各位

「持続可能な航空燃料（SAF）等の安定的・効率的な生産技術開発事業」に係る実施体制の決定について

ユナイテッド計画株式会社（本社：秋田県秋田市、代表取締役：平野 久貴）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）が公募した「持続可能な航空燃料（SAF）等の安定的・効率的な生産技術開発事業」における研究開発項目①『多様な原料を利用可能な SAF 製造技術の開発（助成事業）』（以下、「本事業」）に採択され、この度交付決定をされたことをお知らせいたします。

本事業では、共同研究先として一般財団法人カーボンフロンティア機構（所在地：東京都港区、会長：渡部 肇史）、委託先として住友重機械工業株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：下村 真司）と連携し事業を推進してまいります。

1. 当該事業へ参画した経緯

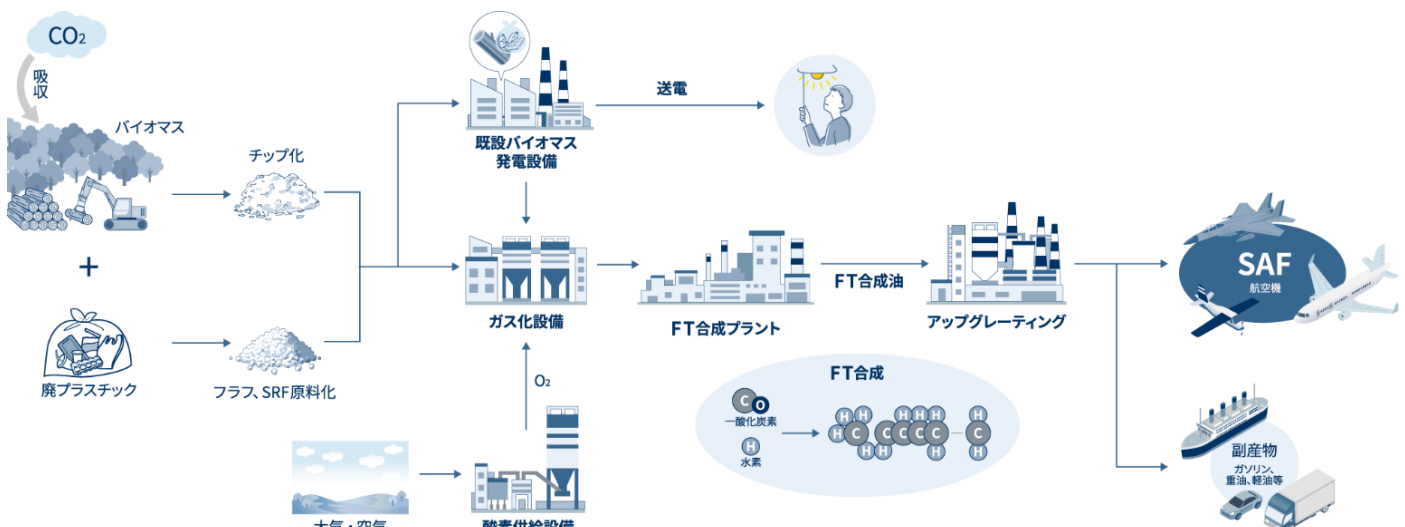
近年、航空業界では脱炭素化に向けた取り組みが世界的に加速しており、SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の利用拡大が進められています。日本においても 2050 年までのカーボンニュートラル実現が目標として掲げられており、2030 年までに国内航空会社の燃料需要の 10%を SAF に切り替える目標が設定され、政府による国産 SAF の普及促進策も進展しています。

こうした状況を受け、本事業を通じて秋田県を拠点に、同県の森林資源や廃プラスチック等の廃棄物を原料としたガス化・FT 合成による地産地消型 SAF 製造技術の実証に取り組みます。

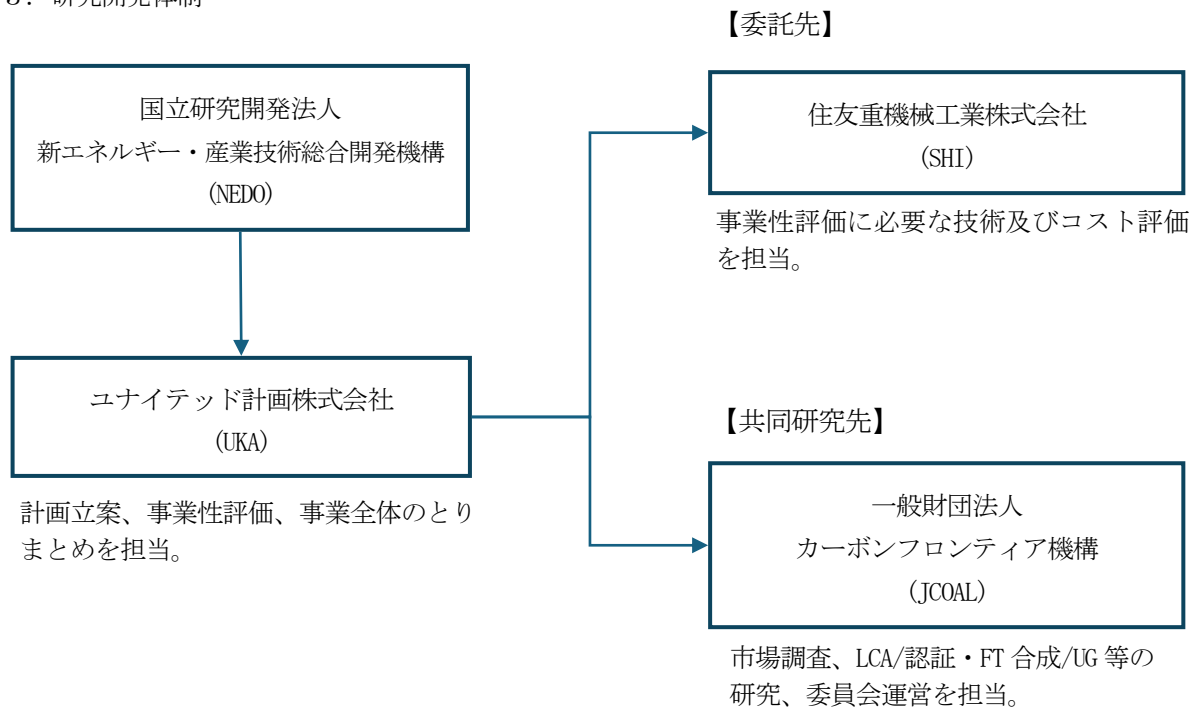
これまで 3 者が取り組んできたバイオマス関連事業で培った技術・ノウハウを活かし、脱炭素社会を見据えた新たなエネルギー供給のモデルケース創出を目指します。また、本事業を通じて、地域資源を最大限に活用した持続可能な燃料供給モデルを確立し、脱炭素社会の実現と地域経済の発展に貢献してまいります。

2. 事業の概要

本事業は、秋田県を中心とした森林資源と廃プラスチック等廃棄物との混合物を原料とする、ガス化・FT 合成を用いた SAF 製造技術の実証を目指すものです。原料調達等一連のサプライチェーン構築、ビジネスモデル検討、SAF 製造コストの試算を踏まえ、そのうえで事業性を評価します。また、並行して、ガス化を含む全体プロセス最適化を実施しつつ、設備簡略化を目指した FT 合成関連の要素技術開発を推進、2030 年代初頭の商用プラント運転を目標に、実証試験を実施します。



3. 研究開発体制



以上